

「東日本大震災被災地視察研修」を開催しました。

宮城教育大学・教育復興支援センターでは、東日本大震災から1年半を迎えた今、学生とセンターの職員が被災地を視察し、震災復興への現状と課題などの話し合いの場を設けて、学生の資質向上をめざす「東日本大震災被災地視察研修」を9月26日（水）・10月6日（土）に開催しました。

視察箇所は、石巻市立大川小学校、石巻市立門脇小学校、仙台市立荒浜小学校、岩沼市仮設住宅などで、仙台市立荒浜小学校では、被災当時の校長である川村孝男先生より、荒浜小学校の内部や屋上、体育館に入って説明を受けました。

最後に、本センター・岩沼事務所において、意見交換会などを行いました。将来教師を目指す本学学生たちにとっては、大変貴重な体験となりました。今後も、機会を設けて「被災地視察研修」を開催します。



石巻市立大川小学校・慰霊碑の前にて



仙台市立荒浜小学校・屋上にて、川村孝男校長先生より説明を聞く。



仙台市立荒浜小学校・体育館にて、川村孝男校長先生より説明を聞く。





教育復興支援センター・岩沼事務所にて意見交換会